

■ 平成 30 年度事業計画書 ■

一般社団法人日本キンボールスポーツ連盟

I 事業期間

平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日

II 事業計画の前提

1. 基本方針

- ・キンボールスポーツが広く社会に受け入れられ、愛好者や支援者を増やしていくために、今まで続けてきた事業に加え、新中長期目標を形あるものにしていくために積極的にチャレンジしていく。
- ・昨年主催したワールドカップ東京大会の実績をもとに、本年度連盟発足 20 周年に向け、周年事業に取り組んでいく。
- ・あわせてリーダーシップを発揮できる新しい人材の育成と将来を見越した組織基盤づくりにも力を注いでいく。

■新中長期目標 6 項目■

■ 学校体育（正課）カリキュラムへの導入

関係省庁、市町村教育委員会等に働きかけキンボールスポーツが学校体育の教材として正式導入されることをめざします。

■ 国体ならびに全国規模のスポーツイベントへの積極的参加

国民体育大会デモンストレーション種目として継続参加をめざします。開催地となる都道府県支部連盟の強化と日本連盟の支援を徹底します。

■ 全国 47 都道府県支部設立及び日本体育協会への加盟

全国 47 都道府県すべてに支部を設立することをめざします。支部が設立されていない県を中心に連盟主催講習会を行い、普及を進めます。また、関係者に働きかけ支部設立に取り組んでいます（現在 38 都道府県に支部ないし準支部設立）。支部の都道府県体育協会加盟も推進し、日本体育協会加盟団体をめざします。

■ アジアキンボールスポーツ連盟の設立とアジア各国との国際交流推進

平成 23 年（2011 年）の兵庫県宝塚市におけるパンパシフィックカップ開催を契機にアジア諸国に働きかけ、平成 28 年（2016 年）より正式活動を開始いたしました。アジア選手権などキンボールスポーツを通じた国際交流を促進します。

■ 多世代や障がいをもつ人々の参加機会の拡充、交流大会の創設

キンボールスポーツがすべての人々に開かれたスポーツであることをめざします。ルールバリエーションの採用、新たな普及プログラムの開発や関係団体との連携により、誰もが参加しやすい環境づくりに取り組んでいきます。

■ 組織基盤・財政基盤の早期確立による事業の充実

平成 22 年（2010 年）度より日本キンボールスポーツ連盟は一般社団法人に生まれ変わりました。今後より一層の事業充実のため、制度・組織の見直しを図り基盤整備の充実をめざします。

2. 組織運営

- (1) 日本キンボールスポーツ連盟の次世代へつなぐ運営体制づくりのため、普及、強化、基盤整備を柱として、当連盟運営組織の充実拡大を図り、最前線で指導的立場にある人材を登用することによって、新たな意見を運営に活かしていく。
- (2) 総会、理事会で決定した事項の実施についての詳細は運営会議で検討する。
- (3) 運営会議で決定した事柄について、委員会において業務、任務にあたる。また、各委員会より運営会議に対して各種提案も行う。

Ⅲ 事業別計画

1. 主催事業 計 12 事業

(1) 大会主催 2 事業

①全国大会

【事業名】 **第 19 回キンボールスポーツジャパンオープン・チャンピオンズカップ**

【場 所】 京都府長岡京市 長岡京市西山公園体育館

【期 日】 2 月 11 日(祝・月)

【備 考】 他国よりの参加も認める。

※独立行政法人日本スポーツ振興センター 平成 30 年度スポーツ振興くじ助成事業（申請中）

②全国大会

【事業名】 **第 19 回キンボールスポーツジャパンオープン・フレンドリーカップ**

【場 所】 宮城県利府町 グランディ 21（宮城県総合運動公園）セキスイハイムスーパーアリーナ

【期 間】 12 月 8 日(土)、9 日(日)

【備 考】 他国よりの参加も認める。

※独立行政法人日本スポーツ振興センター 平成 30 年度スポーツ振興くじ助成事業（申請中）

(2) 講習会主催 10 事業

【内 容】 キンボールスポーツ体験の機会提供、愛好者のスキルアップ

【場 所】 全国

【対象者】 一般希望者、愛好者

※独立行政法人日本スポーツ振興センター 平成 30 年度スポーツ振興くじ助成事業（申請中）

2. 指導者派遣事業

【内 容】 キンボールスポーツ体験の機会提供、指導者、レフリー養成、レフリー資格更新講習および試験、愛好者のスキルアップ

【場 所】 全国

【対象者】 一般希望者、愛好者、指導者、レフリー

【備 考】 各地域の状況、希望に応じた内容の講習会を 1 日ないし 2 日間にて実施。

※独立行政法人日本スポーツ振興センター 平成 30 年度スポーツ振興くじ助成事業（申請中）

3. 普及推進事業

(1) キンボールスポーツ学校導入プロジェクト

【内 容】

キンボールスポーツを継続して取り入れてもらえるよう、体験および見学場所等の手配や教員指導のための講師派遣を行う。

【場 所】 全国

【対象者】 小学校、中学校、高等学校教員、保護者ほか

(2) 支部、リーグ助成

【内 容】

- ①支部（正会員である都道府県連盟）に対して、当該各都道府県在住を中心とした普通会員所属者数に応じて会費還元金として各都道府県連盟に活動資金として支払う。
- ②支部が用具購入、大会・講習会開催、その他普及・支部運営活動に関して資金面で補助が必要な場合、理事会に書面を持って申し出る。「支部助成金交付要綱」に基づき理事会または運営会議で審議後、必要に応じて補助・応援体制をとる。
- ③競技としての発展および活性化目的のために、支部等の主催で行うワールドカップに準じた試合形式のリーグ戦を開催するにあたり、経費の一部を助成する。

(3) 広報

【内 容】 キンボールスポーツのPR活動

【備 考】

- ① 広報誌（会報）の制作・発送（1回）年度末実施予定。
- ② ウェブサイト（ホームページ、フェイスブック等）の管理、運営。通年実施。
- ③ 各種イベントおよび催しでの展示紹介。随時実施。

(4) キンボールスポーツパートナーシップ

【内 容】

- ①パートナー団体、企業の団体名、ロゴマーク、キャッチコピー等が入ったキンボールを講師派遣講習会や大会において優先使用し、パートナー団体、企業が当連盟の諸活動へ協力、協賛していることを参加者や観戦者等にアピールする。
- ②横断幕、ポスター掲示および資料、サンプルの配布ブースの提供などにより、協力団体をアピールする。

【場 所】 主催および後援大会・講習会会場他

【期 間】 随時開始 開始より1年間。

(5) キンボールスポーツ普及協力

【内 容】 キンボールスポーツの用具、備品賃貸

【備 考】 希望者に対し用具、備品の貸与を行う。

(6) グッズ企画

【内 容】 備品等の新商品企画立案

【備 考】 キンボールスポーツに関する備品の商品化を企画する。

4. 団体運営関連事業

(1) 諸会議

【内 容】当連盟運営に関する事項についての審議

【場 所】本部事務局他

【備 考】

- ①定時社員総会 1回（東京／6月23日予定）
- ②理事会 2回（5月19日、6月23日、3月予定）
- ③運営会議 4回予定
- ④委員長会議 6回予定
- ⑤経営戦略会議 4回予定

(2) 主催事業および団体関連の保険加入

【内 容】主催事業および団体での保険加入

【備 考】

- ①年間契約（対象：主催大会・講習会／更新月：10月）の事業傷害保険を更新。
- ②役員、委員会メンバー、事務局スタッフのスポーツ安全保険（傷害、賠償責任）加入。
- ③団体賠償責任保険を更新。

5. 30年度特別事業

(1) 団体設立20周年事業

【内 容】

- ①記念式典および祝賀会の実施 6月23日 会場：コートヤード・マリオット銀座東武ホテル（東京都中央区）
- ②20周年記念誌の発行
- ③20周年記念ロゴマークの制定 全国での大会・イベント等の印刷物に掲載
- ④記念Tシャツの作成
- ⑤その他関連事業

(2) アジアカップ日本代表チーム強化および派遣事業

【内 容】アジアカップ男女日本代表候補ならびに代表チームの強化およびアジアカップ2018への代表選手団の派遣

【場 所】強化合宿：全国対象 派遣先：中国吉林省延吉市（予定）

(3) スポーツ推進委員等への普及推進事業

【内 容】

生涯スポーツとして取り入れてもらうため、スポーツ推進委員、総合型地域スポーツクラブなどに向けて講習会の開催および指導者の派遣

【場 所】全国

【備 考】支部と協同して実施。平成27年度よりの継続事業。

(4) 教員への普及推進事業

【内 容】授業への取り入れ、サークルおよびクラブ発足に向けた教員向け講習会の開催

【場 所】全国

【備 考】協力団体と協同して実施。平成27年度よりの継続事業。

(5) キンボールスポーツの新しい普及分野開拓事業

【内 容】キンボールスポーツを通じて社会課題に取り組む事業の開拓

【場 所】全国